

《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》  
令和2年度施策 評価シート

評価コード 2

施策の方向	多様な主体に向けた広報啓発の推進
担当課	児童家庭課・男女共同参画課・男女共同参画センター

1 事業の概要

基本目標	I	施策の方向	1	施策の内容	DVの根絶に向けた啓発の充実
当初予算額(千円)			19,683	決算額(千円)	19,707
事業の概要・目的	5 DV防止セミナーの充実（児童家庭課） より多くの県民にDVを身近な問題として考えてもらうため、DVの現状と対応について学ぶDV防止セミナーの開催回数を拡大し、地域でのDV防止の意識を高める。				
	6・7 加害者を生まないための対策（男女共同参画課・男女共同参画センター） DVに悩んでいる方に相談窓口を広く周知し、加害者からの相談にも応じることであり、加害者に対する意識啓発を行うなど、DVの防止に努める。 加害者更生プログラムについては、国の動向を注視し、情報収集に努める。				
数値目標など					
指標名等	DV防止セミナーの開催回数の拡大				
目標	年2回以上	実績	年2回		

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

5 児童家庭課【当初予算373千円・決算572千円】 一般県民向けのDV防止セミナーを1回実施し154名が受講した。 3/21(日)10:30~12:00 DV・児童虐待予防オンラインセミナー 「信頼関係を深めるための男女別子育てと夫婦コミュニケーション」
6・7 男女共同参画課・男女共同参画センター【当初予算19,310千円・決算19,135千円】 ・男性のための一般相談及びカウンセリングを実施した。【当初予算3,068千円・決算3,003千円】 電話相談578件（うちDV被害45件）・カウンセリング68件（うちDV被害13件） ・女性のための一般相談及びカウンセリングを実施した。【当初予算16,242千円・決算16,132千円】 電話相談5,504件（うちDV被害710件）・面接相談181件（うちDV被害149件） カウンセリング361件（うちDV被害185件）・法律相談31件（うちDV被害29件） こころの相談25件（うちDV被害14件）

(2) 評価（別紙視点参照）

5 新型コロナウイルスの影響を受け、オンラインセミナーを1回開催することとなった。オンライン研修のため、参加者の受講時の様子は把握できなかったが、27名からアンケートを回答いただき、内容については「大変よく理解できた、概ね理解できた」が24名、今後に役立つ知識・手法は得られたかの問いについては「十分得られた、やや得られた」に25名の回答をいただくことができた。
6 男女共同参画センターで実施する男性専門相談の件数は高止まり傾向にあり、被害者からの相談に限定せず、加害者からの相談にも対応している。男性専門相談の電話番号については、キャンペーンや自治会の回覧板により配布したチラシの他、高校生向けのデートDV相談カードやデートDV啓発リーフレットにも記載し、広く県民への周知を図っている。

3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

<p>&lt;課題・改善すべき点&gt;</p> <p>5 オンラインだったため遠方から参加できるようになったが、「夫の前だと見つらい」、「資料がほしい」、「動画配信を希望する」との意見があがった。</p> <p>6 加害者対策は国の動向が不透明であり、県としても独自の方策が検討しにくい状況にある。</p> <p>&lt;今後の方針&gt;</p> <p>5 今後も、多くの県民が参加しやすい曜日や時間などを考慮してセミナーを複数回実施し、広く県民にDVの予防・未然防止の機運を醸成していく。</p> <p>6 国の加害者対策の動向を注視していくとともに、男性向けの相談窓口の広報を継続して行う。</p>
---